

中華圏株式ファンド（毎月分配型）

<愛称：チャイワン>

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第109期（決算日2019年11月5日） 第110期（決算日2019年12月4日） 第111期（決算日2020年1月6日）
第112期（決算日2020年2月4日） 第113期（決算日2020年3月4日） 第114期（決算日2020年4月6日）

作成対象期間（2019年10月5日～2020年4月6日）

第114期末（2020年4月6日）	
基準価額	2,138円
純資産総額	35,442百万円
第109期～第114期	
騰落率	2.7%
分配金（税込み）合計	300円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「中華圏株式ファンド（毎月分配型）」は、2020年4月6日に第114期の決算を行ないました。当ファンドは、主に、中国経済圏の株式に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<641456>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

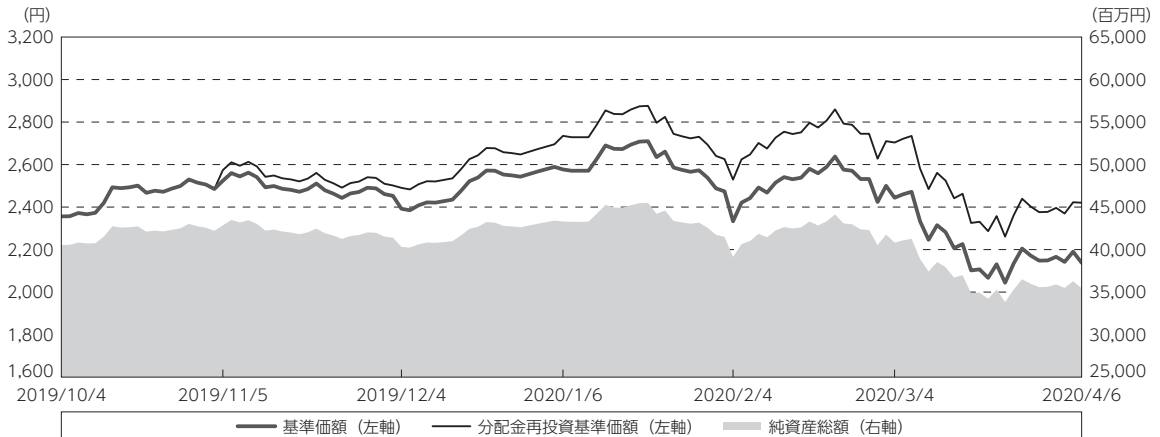
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2019年10月5日～2020年4月6日)



第109期首：2,356円

第114期末：2,138円 (既払分配金(税込み)：300円)

騰落率：2.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年10月4日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主に、中国経済圏の株式に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米中貿易協定の「第一段階」の合意やMSCI社の株価指数への中国A株の組入比率の引き上げなどが株価の押し上げ材料となったこと。
- ・中国人民銀行(PBOC)による預金準備率の引き下げや米中貿易交渉の「第一段階合意」署名などを好感して株式市場が上昇したこと。
- ・米国の量的緩和強化や大規模な経済対策などからリスクセンチメントが回復したこと。
- ・新たなテクノロジー・サイクルが2019年の中盤から始まり、中国政府が5G(次世代移動通信規格)設備建設の推進などのテクノロジー推進計画を発表し、クラウド・コンピューティングやIoT(モノのインターネット)関連がテクノロジー・ハードウェア需要を押し上げたこと。

＜値下がり要因＞

- ・中国・武漢市で発生した新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大懸念が高まり、中国A株市場が下落したこと。
- ・新型コロナウイルスの世界的な大流行による景気減速懸念から世界的な株安が連鎖したこと。
- ・香港市場で抗議デモによる情勢緊迫化や景気悪化が懸念されたこと。
- ・台湾市場で新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けたサプライチェーン懸念などが重しとなったこと。

1万口当たりの費用明細

（2019年10月5日～2020年4月6日）

項 目	第109期～第114期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	14	0.556	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(3)	(0.122)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(10)	(0.417)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.007	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(0)	(0.004)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	14	0.563	
作成期間の平均基準価額は、2,458円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

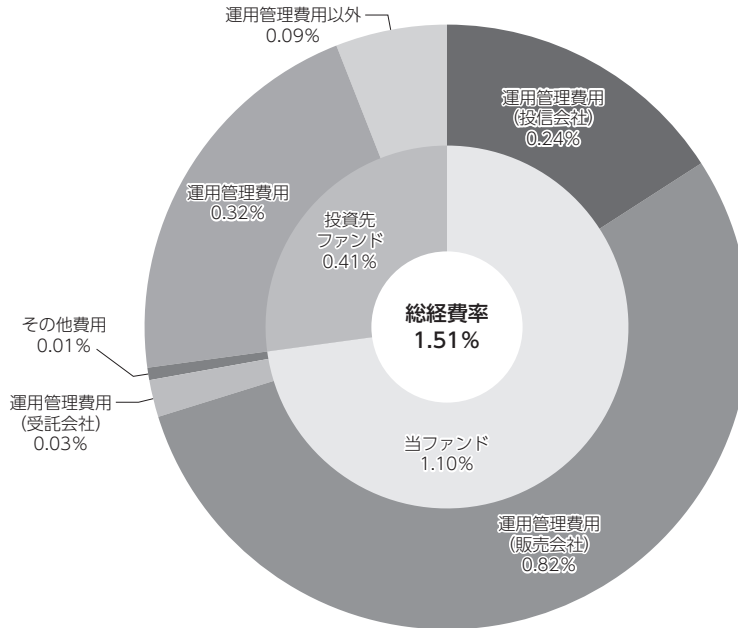
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.51%です。



(単位：%)

総経費率(①+②+③)	1.51
①当ファンドの費用の比率	1.10
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.32
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

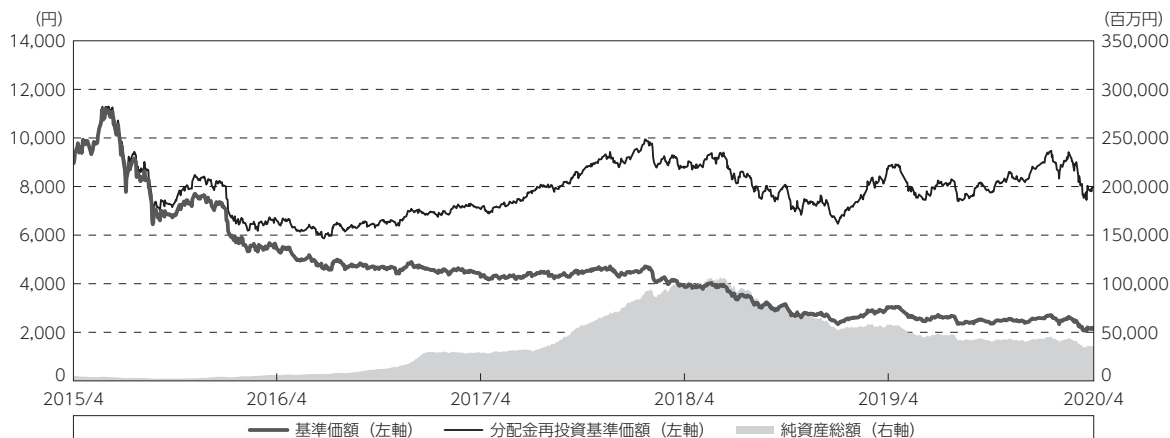
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2015年4月6日～2020年4月6日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2015年4月6日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年4月6日 決算日	2016年4月4日 決算日	2017年4月4日 決算日	2018年4月4日 決算日	2019年4月4日 決算日	2020年4月6日 決算日
基準価額 (円)	8,949	5,439	4,283	3,877	3,011	2,138
期間分配金合計(税込み) (円)	—	1,360	1,440	1,400	780	600
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 26.3	7.2	24.8	△ 0.2	△ 9.5
純資産総額 (百万円)	5,090	5,920	28,531	98,003	57,531	35,442

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2019年10月5日～2020年4月6日）

（中華圏株式市況）

中華圏の株式市場は、期間の初めと比べて大きく下落しました。

中国の株式市場は、米中貿易協議の進展などを背景に好調に上昇した後、新型コロナウイルスの感染拡大が重しとなって急落しましたが、5G設備の建設推進計画などの景気対策などが下支えとなり、中華圏の中では相対的に健闘して下落率は限定的となりました。

期間の初めから2019年末にかけては、米中貿易協議の進展期待や米国による対中関税上乘せの先送りなどを好感してリスクセンチメントが回復し、香港のデモの過激化懸念や米国における「香港人権・民主主義法案」の成立を受けた米中関係の悪化懸念などをこなしつつ、中国の金融緩和期待も押し上げ材料に市場は年末まで好調に推移しました。

その後、2020年1月には、PBOCによる預金準備率の引き下げや米中貿易協議の「第一段階合意」署名などを好材料に堅調に推移した後、月末にかけては中国・武漢市で発生した新型コロナウイルスの感染拡大懸念を受けてリスク回避の売りが広がり、市場は急落しました。春節（旧正月）明けの市場は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて大幅安となりましたが、PBOCによる資金供給や貸し出し金利の引き下げなどの一連の支援策が好材料となり市場は反発しました。

3月から期間末にかけては、新型コロナウイルスの世界的な大流行による景気減速懸念から世界的な株安が広がるなかで中国市場も急落しました。米国による事実上無制限の量的緩和の強化や20兆米ドルに及ぶ大規模な経済対策、中国の財政出動期待や中国本土の感染終息期待などから投資家センチメントが回復して市場は若干反発しましたが、中国市場は期間の初めと比べて下落して期間末を迎えました。

香港市場は、「逃亡犯条例」改正案を巡る抗議デモによる情勢緊迫化や景気悪化懸念をこなしつつ、米中貿易協議の進展などを好感して緩やかに上昇したものの、期間末にかけては新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けた景気減速懸念が悪材料となって急落し、期間の初めと比べて大きく下落しました。

台湾市場も、米中貿易協議の進展や世界的な半導体需要の増加などを背景に好調に上昇しましたが、期間末にかけては新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けたサプライチェーン懸念や電子機器の生産停滞懸念の高まりが重しとなり、期間の初めと比べて大きく下落しました。

（中国A株市況）

中国A株市場は、期間の初めと比べて下落しました。

期間の初めから2019年末にかけては、米中貿易協議の「第一段階」の合意や米国による対中関税上乘せの先送りなどを好感してリスクセンチメントが回復し、MSCI社の株価指数への中国A株の組入比率の引き上げも株価の押し上げ材料に、アフリカ豚コレラ蔓延による豚肉価格の高騰を主因とするインフレ懸念などをこなしつつ市場は堅調に上昇基調を続けました。

しかしその後、2020年1月には、PBOCによる預金準備率の引き下げや米中貿易交渉の「第一段階合意」署名などを好材料に一段高となった後、中国・武漢市で発生した新型コロナウイルスの感染拡大懸念が春節前に高まり、市場は下落しました。春節明けには、PBOCによる巨額の流動性供給や財政支援策などを受けてリスクセンチメントが改善し、市場は急反発しましたが、3月に入ると新型コロナウイルスの感染が欧米へ急拡大し、世界的な大流行（パンデミック）による景気減速懸念から株安が連鎖して中国A株市場も急落しました。

期間末にかけては、米国の量的緩和強化や大規模な経済対策、中国本土の感染終息期待などからセンチメントが回復して市場は若干反発しましたが、大きな下げ幅を埋めるには至らず、中国A株市場は期間の初めと比べて下落して期間末を迎えました。

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.01%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.02%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.37%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.15%近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（2019年10月5日～2020年4月6日）

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「チャイナランド株式ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券を概ね高位に維持し、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

また、「チャイナランド株式ファンド（適格機関投資家向け）」は、「チャイナランド株式マザーファンド」および「中国A株マザーファンド」への投資を通じて、実質的な運用を各マザーファンドで行ないました。

（チャイナランド株式マザーファンド）

期間中、ポートフォリオでは、情報技術や、ヘルスケア、資本財・サービスなどのセクターのウェイトを引き下げ、期間末にかけて現金比率をやや高めに維持しました。また、期間末にかけての原油価格の下落局面で油田サービス関連のウェイトの引上げを進めました。

（中国A株マザーファンド）

期間中、中国A株市場が下落するなかでファンドのパフォーマンスは好調となり市場平均を上回りました。期間の初めから2019年末にかけては、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）の回復や流動性の緩和を背景に市場が堅調に回復基調で推移し、テクノロジー関連株は新たなテクノロジー・サイクルから恩恵を受け、スマートフォンの革新や5G設備、そして電気自動車関連の急成長などを背景に企業の収益成長は市場予想を大きく上回りました。ファンドではこうした関連セクターの比率を高めにしていたことが奏功して市場平均を上回るパフォーマンスとなりました。また、建材や機械関連について積み増しを進めたことや、消費関連におけるポジションもパフォーマンスの好調に寄与しました。

2020年の初めから期間末にかけては、中国における新型コロナウイルスの感染拡大を巡り市場が混乱しましたが、クラウド・コンピューティングやネット販売関連などのテクノロジー関連株の一部が社会的距離の確保が進むなかで恩恵を受け、ファンドのパフォーマンスも3月まで引き続き好調となりました。しかしその後、欧米への感染急拡大から世界的な株安が進むなかで中国A株も海外需要の低迷懸念などから急落しました。ファンドでは、テクノロジー関連のウェイトを引き下げ、消費関連やヘルスケアなどのディフェンシブ（景気動向に左右されにくい）・セクターへシフトを進めました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年10月5日～2020年4月6日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

（2019年10月5日～2020年4月6日）

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	2019年10月5日～ 2019年11月5日	2019年11月6日～ 2019年12月4日	2019年12月5日～ 2020年1月6日	2020年1月7日～ 2020年2月4日	2020年2月5日～ 2020年3月4日	2020年3月5日～ 2020年4月6日
当期分配金	50	50	50	50	50	50
（対基準価額比率）	1.943%	2.048%	1.903%	2.098%	2.005%	2.285%
当期の収益	50	50	50	50	50	50
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	4,342	4,349	4,358	4,365	4,374	4,381

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、原則として、「チャイナランド株式ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券の組入比率を概ね高位に維持し、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

また、「チャイナランド株式ファンド（適格機関投資家向け）」は、「チャイナランド株式マザーファンド」および「中国A株マザーファンド」への投資を通じて、実質的な運用を各マザーファンドで行なう方針です。

（チャイナランド株式マザーファンド）

中華圏3市場において、当ファンドは引き続き中国本土市場を重点に、香港、台湾市場へも投資する方針を維持しています。

新型コロナウイルスの感染が2020年3月に世界的な規模に拡大し、グローバル・サプライチェーンにおける懸念は今や、中華圏の観点からは世界的な需要下押し懸念となっています。中華圏における2020年第1四半期の景気減速は第2四半期も継続する可能性が高いものの、さほど長期化しないと予想しています。中小企業の債務期限の延期や、地方債および国債の発行拡大、利下げなどのカウンターシクリカルな（景気変動をならす）循環的政策調整は引き続き市場を下支えしていますが、中国政府は世界金融危機時のような大規模な市場対策を講ずるとは予想しておらず、この不況においてより限定的で戦略

に沿ったものになるとみています。

米国における感染拡大が始まったばかりで需要低下が予想を上回る可能性が高いことから、当ファンドでは引き続き当面の見通しについて慎重姿勢を維持しています。一方で、中国の消費セクターの成長性や、国内外における中国ブランドの競争力向上に期待するファンドの投資テーマの多くは影響を受けないとみており、市場の大きな調整局面では長期的な成長ストーリーに基づいて投資を進める好機を模索する方針です。

香港市場については、不動産や金融、小売などの主力セクターにおいて新型コロナウイルスによる悪影響が重しとなるとみられることから、ファンドでは引き続き慎重姿勢を維持しています。

台湾市場については、特にデータ・センターやテレワーク用ネットワーク機器・設備の主力供給地としてこの難局で恩恵を得ると予想しており、引き続き5Gやデータ・センター関連などのサブセクターを中心に積極姿勢を維持しています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（中国A株マザーファンド）

当ファンドでは、今後の中国A株市場は、経済支援策が打ち出されるに伴って徐々に回復すると予想されるものの、当面の市場見通しについては引き続き中立な見方を維持しています。市場はすでに底値に近いと思われるものの、新型コロナウイルスの感染拡大を巡る不透明感により、結論付けるにはまだ時間を要するとみています。中国では経済活動が8割程度再開し、中国経済は2020年3月から徐々に回復しつつありますが、世界的なサプライチェーンと輸出の混乱が景気回復の最大の懸念となっています。今後2～3ヵ月で米国と欧州が平常時まで回復すれば中国の経済成長には劇的な影響を及ぼさないと考えられますが、3ヵ月以内に終息しなければ中国の国内総生産（GDP）成長率もかろうじてプラス、という程度になるとみています。一方で、さらに大規模な経済支援策があれば、状況は好転する可能性もあります。いずれにせよ中国経済は他国より早期に回復し、中国A株市場は海外市場を上回る回復になると予想しています。長期的には、回復力のある中国A株市場へ海外資金が流入し、また中国企業の世界的な市場シェアも高まると予想しており、長期的な中国株式市場の見通しは非常に有望であるとみています。

こうした見通しの下、ファンドでは、市場が調整するなかで、世界的な需要減速の影響を受けにくく収益成長が堅固な銘柄群への積み増しを進める予定です。経済支援策と需要の増大から最も恩恵を得ると考える、5G関連機器やクラウド・コンピューティング関連を主に選好するほか、建材や機械関連についても市場の調整局面で投資対象とする方針です。また、需要が早晩回復するとみられる生活必需品についても積み増しを検討する予定です。総じて、テクノロジー関連や、ヘルスケア、消費関連を選好しつつ、金融や景気循環株については引き続き慎重姿勢を維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

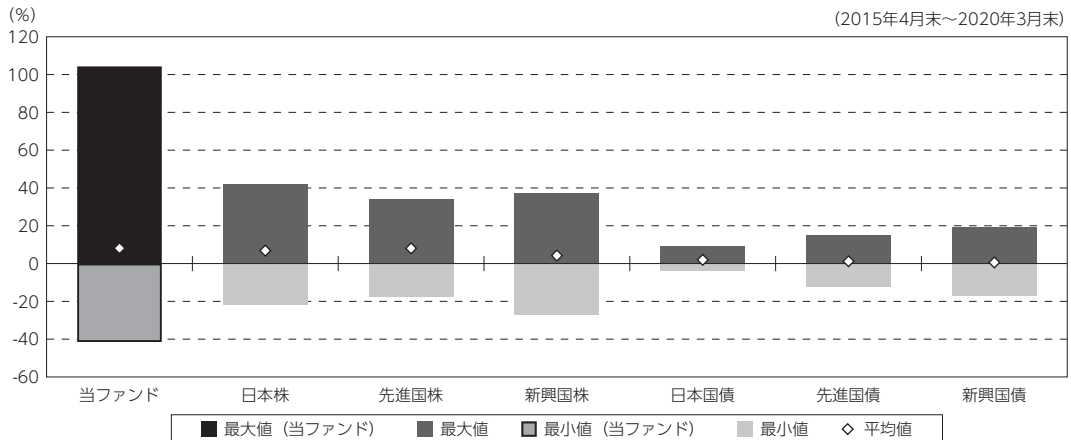
2019年10月5日から2020年4月6日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2010年10月29日から2021年10月4日までです。
運用方針	主として、中国経済圏企業が発行する金融商品取引所上場株式や当該株式の値動きに連動する上場投資信託証券を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「チャイナランド株式ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、中国経済圏企業が発行する金融商品取引所上場株式や当該株式の値動きに連動する上場投資信託証券を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	104.3	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	△ 41.5	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	8.1	6.8	8.0	4.2	2.0	1.2	0.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年4月から2020年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年4月6日現在)

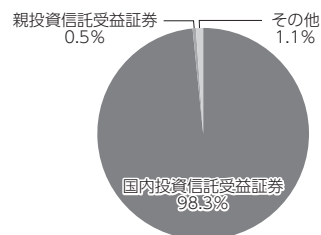
○組入上位ファンド

銘柄名	第114期末
	%
チャイナランド株式ファンド（適格機関投資家向け）	98.3
マネー・アカウント・マザーファンド	0.5
組入銘柄数	2銘柄

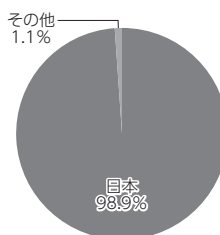
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

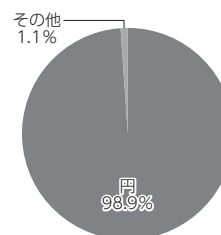
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末
	2019年11月5日	2019年12月4日	2020年1月6日	2020年2月4日	2020年3月4日	2020年4月6日
純資産総額	42,857,531,319円	40,319,328,797円	43,296,967,342円	39,131,874,738円	40,813,567,542円	35,442,341,989円
受益権総口数	169,832,451,835口	168,565,297,759口	168,037,823,353口	167,741,411,764口	167,021,484,978口	165,741,226,744口
1万口当たり基準価額	2,524円	2,392円	2,577円	2,333円	2,444円	2,138円

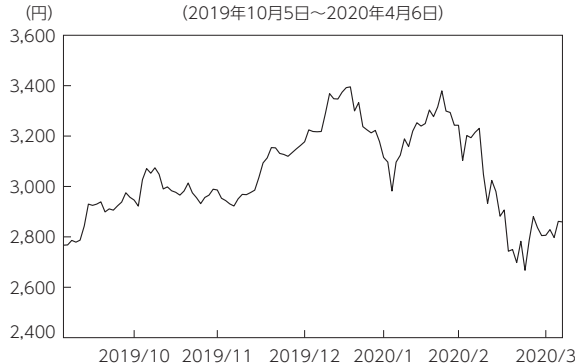
(注) 当作成期間（第109期～第114期）中における追加設定元本額は11,251,681,403円、同解約元本額は17,487,398,673円です。

組入上位ファンドの概要

チャイナランド株式ファンド（適格機関投資家向け）

【基準価額の推移】

(2019年10月5日～2020年4月6日)



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2019年10月5日～2020年4月6日)

項目	第115期～第120期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	10 (8) (-) (1)	0.334 (0.289) (-) (0.044)
(b) 売買委託手数料 (株式)	4 (4)	0.136 (0.136)
(c) 有価証券取引税 (株式)	2 (2)	0.072 (0.072)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	1 (1) (0) (0) (0)	0.044 (0.041) (0.001) (0.002) (0.000)
合計	17	0.586

作成期間の平均基準価額は、2,870円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

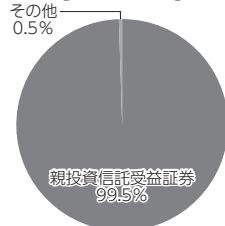
(2020年4月6日現在)

銘柄名	第120期末
チャイナランド株式マザーファンド	55.3%
中国A株マザーファンド	44.3%
組入銘柄数	2銘柄

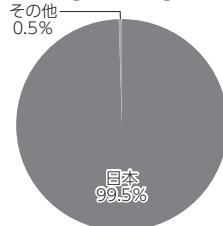
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

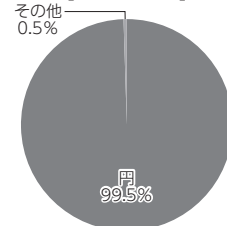
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



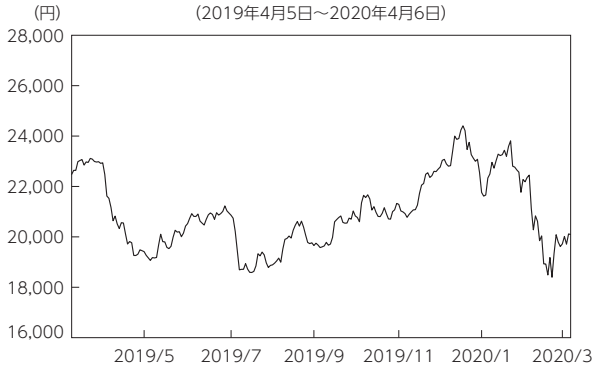
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

＜ご参考＞ チャイナランド株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2019年4月5日～2020年4月6日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	27 (27)	0.131 (0.131)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	16 (16)	0.077 (0.077)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	13 (11) (2)	0.064 (0.055) (0.009)
合 計	56	0.272

期中の平均基準価額は、20,910円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2020年4月6日現在)

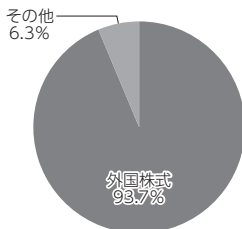
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 PING AN INSURANCE GROUP CO-H	保険	香港ドル	中国	7.1
2 TENCENT HOLDINGS LTD	メディア・娯楽	香港ドル	中国	6.4
3 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	半導体・半導体製造装置	新台湾ドル	台湾	5.6
4 GREENLAND HONG KONG HOLDINGS	不動産	香港ドル	ケイマン諸島	5.6
5 ALIBABA GROUP HOLDING-SP-ADR	小売	アメリカドル	ケイマン諸島	5.0
6 PETROCHINA CO LTD-H	エネルギー	香港ドル	中国	5.0
7 CHINA FEIHE LTD	食品・飲料・タバコ	香港ドル	ケイマン諸島	4.9
8 LOGAN PROPERTY HOLDINGS CO L	不動産	香港ドル	ケイマン諸島	4.7
9 VISUAL PHOTONICS EPITAXY CO	半導体・半導体製造装置	新台湾ドル	台湾	4.5
10 LONGFOR GROUP HOLDINGS LTD	不動産	香港ドル	ケイマン諸島	3.9
組入銘柄数			30銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

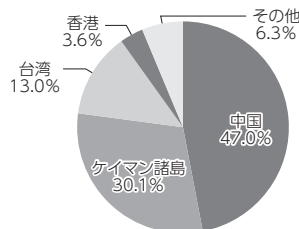
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

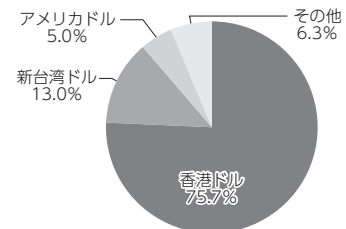
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

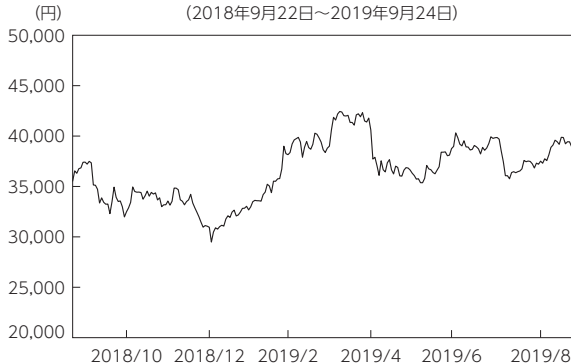
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

＜ご参考＞ 中国A株マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年9月22日～2019年9月24日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年9月22日～2019年9月24日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	117 (117)	0.321 (0.321)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	59 (59)	0.163 (0.163)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	37 (36) (1)	0.101 (0.100) (0.002)
合計	213	0.585

期中の平均基準価額は、36,384円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

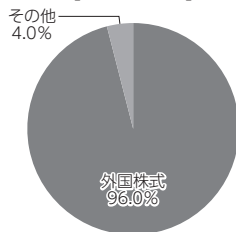
【組入上位10銘柄】

(2019年9月24日現在)

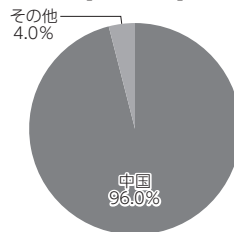
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 PING AN INSURANCE GROUP CO-A	保険	中国人民幣元	中国	6.1%
2 CITIC SECURITIES CO-A SHARES-A	各種金融	中国人民幣元	中国	4.6%
3 WENS FOODSTUFFS GROUP CO-A	食品・飲料・タバコ	中国人民幣元	中国	4.1%
4 KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A	食品・飲料・タバコ	中国人民幣元	中国	3.3%
5 CHANGCHUN HIGH & NEW TECH-A	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	中国人民幣元	中国	3.1%
6 CHINA MERCHANTS BANK-A	銀行	中国人民幣元	中国	2.9%
7 INDUSTRIAL BANK CO LTD-A	銀行	中国人民幣元	中国	2.5%
8 WULIANGYE YIBIN CO LTD-A	食品・飲料・タバコ	中国人民幣元	中国	2.3%
9 MIDEA GROUP CO LTD-A	耐久消費財・アパレル	中国人民幣元	中国	2.1%
10 LUXSHARE PRECISION INDUSTR-A	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	中国人民幣元	中国	2.1%
組入銘柄数		58銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

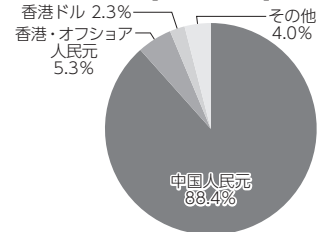
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

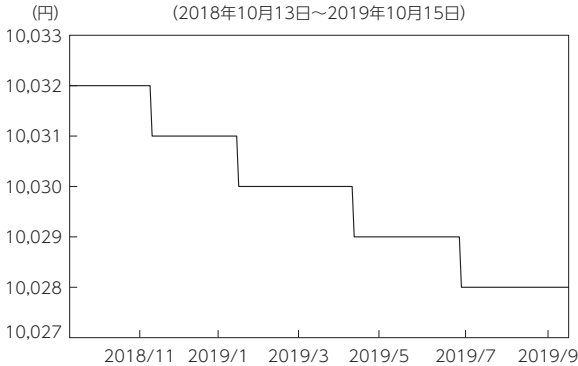


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

マネー・アカウント・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年10月13日～2019年10月15日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年10月13日～2019年10月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 1 (1)	% 0.005 (0.005)
合 計	1	0.005

期中の平均基準価額は、10,029円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2019年10月15日現在)

2019年10月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。